

校長 松田真一

本年度から校長として着任しました。よろしくお願いいたします。

昨年度は、新型コロナウイルス感染症拡大のため、臨時休校や多くの学校行事、PTA活動が中止や延期、縮小などの措置を取らなくてはいけなくなり、残念な年でした。そして、現在も新型コロナウイルスの猛威は止まらず、変異ウイルスのため全国的に第4波の波が広がっている状況となっています。そういった状況ではありますが、今年度は、感染状況を見ながらどのような感染防止対策をすれば、多くの教育活動や行事等を行えるかを考え、できるだけ教育活動を止めない方向で対応していきたいと考えています。

本校は、県内唯一の聴覚障害教育を主に行う学校として、幼稚園、小学校、中学校、高等学校に準ずる教育と、一人一人の発達段階や障害の状態に応じたきめ細やかな専門性の高い教育の実践を第一として、子どもたちの夢を実現する学校づくりに努めています。

また、高知県において聴覚障害教育の要としてセンター的役割も担っており、乳幼児、幼稚園、保育所、小中学校の難聴学級や通常の学級、高等学校等に対しての支援も引き続き行っていきます。

今年度は、幼稚部4名、小学部5名、中学部6名、高等部2名の合計17名の幼児児童生徒でスタートしています。

子どもたちの教育については、「学ぶ意欲にあふれ、心豊かにたくましく夢に向かって羽ばたく子どもたちを育成する。」学校を目指し、知・徳・体の調和がとれた、自らの人生を切り拓き、主体的に生きる力を育成したいと考えています。

そのために、本年度は、聴覚障害教育の教員としての専門性やICTの効果的な活用に関する専門性の向上を図りながら、子どもたちにとって分かる授業、分かりやすい指導をしっかりと行いたいと考えています。

教職員一同が一丸となって取り組んでまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

令和3年5月